

農林業の生産から消費に至る農林業技術の研究開発による長崎県の活性化



# 長崎県農林技術開発センター

Nagasaki Agricultural and Forestry Technical Development Center

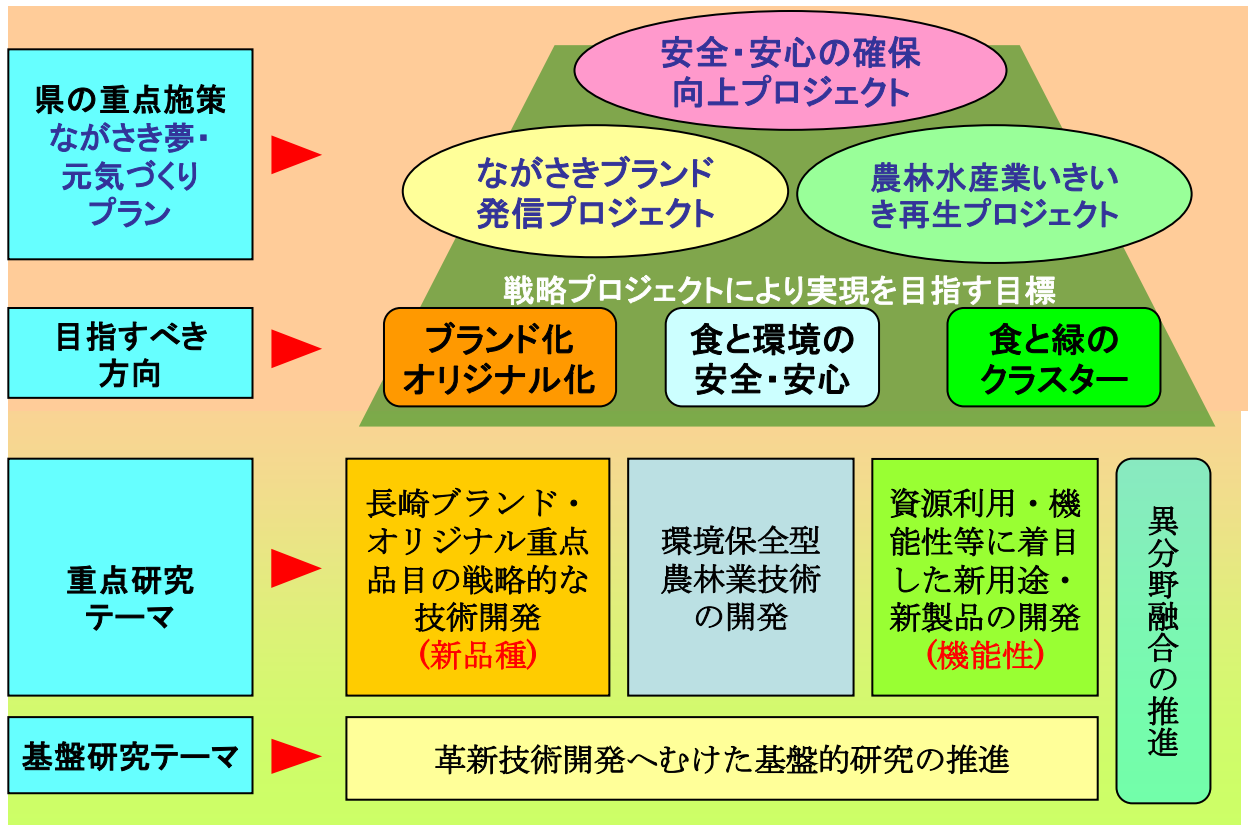
## 要 OUTLINE 覧



## 研究開発の基本理念(ビジョン)

農林業の生産から加工・流通、消費までの先導的な農林業技術に関する試験研究・開発等を行い、県内の農林業及び関連産業の振興に貢献し、県民生活の向上を実現します。

### 【研究開発の目指すべき方向と研究テーマの体系化・重点化のイメージ図】



### 重点テーマ

1. 長崎ブランド・オリジナル重点品目の戦略的な技術開発
2. 環境保全型農林業技術の開発
3. 資源利用・機能性等に着目した新用途・新製品の開発
4. 革新技术開発へむけた基盤的研究の推進
5. 情報の受発信と技術支援

# 各部門の紹介

## 管理部門

### 主な業務

- 庶務及び公有財産、農林資料館の管理
- 予算、決算及び物品の管理



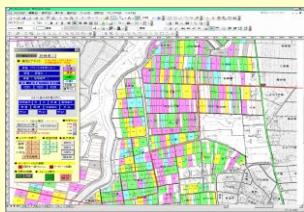
## 研究企画部門

### 主な業務

- 試験研究の総合企画、調整及び研究職員の研修
- 研究成果の普及促進、広報活動及び気象観測
- 地域農業振興と農業経営改善のための調査研究
- 農林産物の加工及び品質評価、機能性の研究



センターの一般公開



農作業受託組織向け  
圃場情報ツール



伝統野菜の機能性研究  
(長崎たかな等)  
写真提供: 八江農芸



長崎有色バレイショ「西  
海31号」の加工品開発

## 干拓営農研究部門

### 主な業務

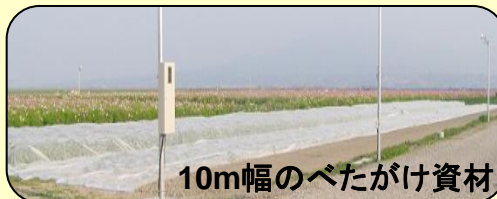
- 諫早湾干拓地における大規模環境保全型農業技術の開発
- 農業機械・施設の開発改良及び省力軽作業化技術の試験研究



ペレット堆肥



ペレット堆肥の散布



10m幅のべたがけ資材



黄色灯による害虫制御研究



害虫制御研究(ハスモンヨトウ)



ぱれいしょ多機能植付機

## 農産園芸研究部門

### 主な業務

- 稲・麦等の品種選定と育成
- 稲麦等の省力・安定・高品質栽培技術の開発
- 野菜の優良品種選定と栽培技術の開発
- 施設野菜の省力・高品質栽培技術の開発
- 花きの品種育成と高品質・安定生産技術の開発
- バイオテクノロジーによる農産物の品種育成
- 茶の環境保全型栽培技術及び省力栽培体系の開発
- 茶葉を利用した機能性食品の開発
- 暖地2期作ばれいしょ品種の育成と栽培技術の開発
- ばれいしょ病害虫の生態解明と制御技術の開発



イチゴ新品種の選定と栽培技術開発



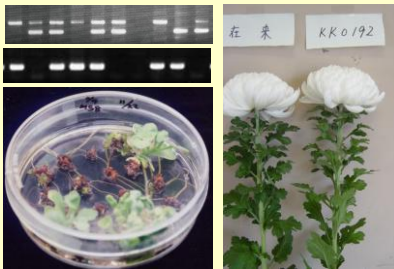
高品質な水稲品種選定と栽培技術開発



アスパラガス有望品種の栽培技術開発



ばれいしょ新品種育成



DNAマーカーの開発と農作物の新品種育成



長崎オリジナルカーネーションの新品種育成



茶葉とびわ葉を原料とした高機能発酵茶の機能性解明と実用化

## 森林研究部門

### 主な業務

- 森林資源の循環利用等持続可能な森林経営に関する試験
- 低コストで効率的な森林施業技術の開発
- 森林病虫獣害防除技術の改善及び開発
- 木質資源の利用・加工及びシイタケ等特用林産物の栽培技術の開発
- 水土保全、海岸林育成、温暖化防止等森林機能の発揮と環境保全に関する研究



巻枯し間伐作業



アベマキ利用のシイタケ栽培



ヤブツバキの利活用



集落と農地を守る海岸林

## 環境研究部門

### 主な業務

- 環境保全型農業に関する試験研究
- 土壌の調査、地力の維持増進技術の開発
- 施肥改善と作物の栄養生理に関する試験研究
- 農作物病害虫の生態解明と制御技術の開発
- 農薬分析に関する試験研究



土壌断面調査



アスパラガス病害制御研究



イチゴ病害制御研究



残留農薬研究

## 果樹研究部門

### 主な業務

- ビワ、カンキツ新品種の育成
- 新素材・新栽培法による高品質果実生産技術の開発
- 省力・低コスト生産技術の開発
- 環境に配慮した施肥、病害虫管理技術の開発



長崎県オリジナル品種  
「させぼ温州」



大果で食味がよい中生  
のビワ「なつたより」



スモモの平棚栽培

## 畜産研究部門

### 主な業務

- 乳用牛・肉用牛・豚の飼養管理技術の開発
- バイオテクノロジーによる高能力牛の作出技術の開発
- 草地・飼料作物に関する技術の開発
- 対馬地鶏を活用した食味のよい特産鶏の開発
- 環境に配慮した家畜排せつ物処理技術の確立

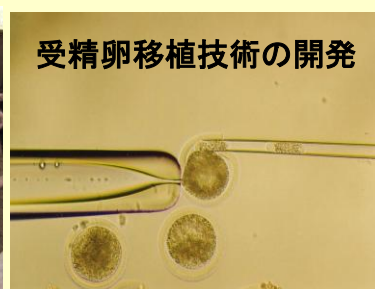
肉用牛の放牧技術の開発



低・未利用食品残さの  
高度利用技術の開発

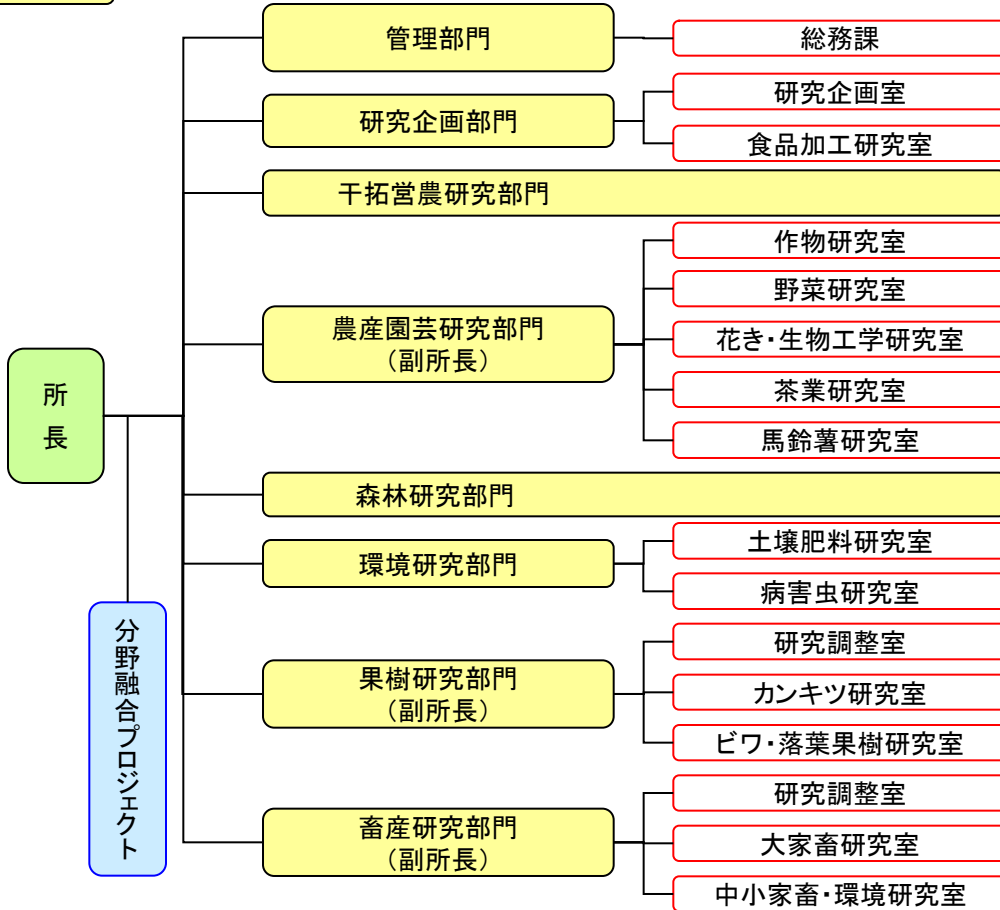


受精卵移植技術の開発



# 組織体制と職員数

## 組織体制



## 職員数

(単位: 人、平成23年4月1日現在)

部門名	事務職	研究員	現業	小計	嘱託	合計
所長		1		1		1
管理部門	10		2	12	4	16
研究企画部門		9		9	1	10
干拓営農研究部門		5	1	6	2	8
農産園芸研究部門		28	9	37	6	43
森林研究部門		7	2	9		9
環境研究部門		11	1	12		12
果樹研究部門	1	14	6	21	2	23
畜産研究部門	2	13	21	36	9	45
合計	13	88	42	143	24	167

## 表紙写真

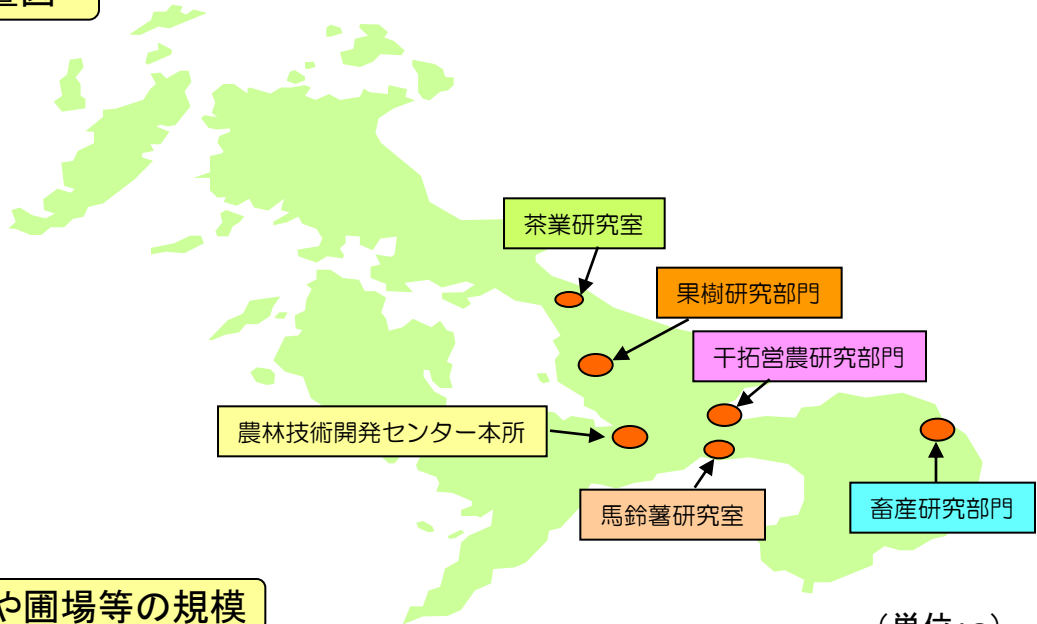
水稲新品種「にこまる」	イチゴ新品種「こいのか」	馬鈴薯新品種「さんじゅう丸」
アスパラガス品種「ウエルカム」	カーネーション新品種「だいすき」	アベマキ原木しいたけ
カンキツ品種「させぼ温州」	ビワ新品種「なつたより」	新銘柄鶏「つしま地どり」
受精卵移植により生まれた黒毛和牛	諫早湾干拓地における大規模環境保全型農業技術開発	

# 沿革・位置図・施設や圃場等の規模

## 沿革

- 1898年(明治31年) 長崎県立農事試験場を長崎市中川町に設置
- 1920年(大正 9年) 諫早市永昌町に移転
- 1929年(昭和 4年) 茶業部を東彼杵町に設置
- 1950年(昭和25年) 長崎県農業試験場に改称
- 1951年(昭和26年) 愛野試験地を愛野町に設置
- 1954年(昭和29年) 大村園芸分場を大村市に設置
- 1961年(昭和36年) 長崎県総合農林センターとして現在地に移転
- 1971年(昭和46年) 長崎県総合農林試験場に改称
- 1972年(昭和47年) 果樹試験場(大村市)が独立
- 1973年(昭和48年) 畜産試験場(有明町)が独立
- 2003年(平成15年) 県内7試験研究機関を統括する政策調整局の所管
- 2006年(平成18年) 新設の科学技術振興局の所管
- 2009年(平成21年) 3試験場を統合再編し長崎県農林技術開発センターに改称
- 2011年(平成23年) 科学技術振興局の再編に伴い、農林部へ移管

## 位置図



## 施設や圃場等の規模

(単位:a)

研究部門等	水田	畑	飼料畑	山林	建物等敷地	その他	合計
本 所	373	2,018		6,712	894	607	10,604
干拓営農研究部門		(600)			(18)		(618)
茶業研究室		495			124	181	800
馬鈴薯研究室		420			35	1	456
果樹研究部門		524			90	505	1,119
畜産研究部門			1,430	1,370	520	450	3,770
合計	373	3,457	1,430	8,082	1,663	1,744	16,749

# 所在地・連絡先

部門名	室名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号
<b>長崎県農林技術開発センター</b>		854-0063	諫早市貝津町3118	0957-26-3330	0957-26-9197
管理部門	総務課			0957-26-4062 0957-26-4295	
研究企画部門	研究企画室			0957-26-4328	
	食品加工研究室			0957-26-4279	
干拓営農研究部門		854-0038	諫早市中央干拓131	0957-35-1272	0957-35-1273
農産園芸研究部門	作物研究室	854-0063	諫早市貝津町3118	0957-26-4350	0957-26-9197
	野菜研究室			0957-26-4318	
	花き・生物工学研究室			0957-26-4319 0957-26-4326	
	茶業研究室	859-3801	東彼杵郡東彼杵町中尾郷1414	0957-46-0033	0957-46-0875
	馬鈴薯研究室	854-0302	雲仙市愛野町乙2777	0957-36-0043	0957-36-2697
森林研究部門		854-0063	諫早市貝津町3118	0957-26-4292 0957-26-4293	0957-26-9197
環境研究部門	土壌肥料研究室			0957-26-4381	
	病虫害研究室			0957-26-4413	
果樹研究部門	研究調整室	856-0021	大村市鬼橋町1370	0957-55-8740 0957-55-7904	0957-55-6716
	カンキツ研究室				
	ビワ・落葉果樹研究室				
畜産研究部門	研究調整室	859-1404	島原市有明町湯江丁3600	0957-68-1135 ~1137	0957-68-1138
	大家畜研究室				
	中小家畜・環境研究室				

## 【長崎県農林業の概要】

- 立地条件 島嶼(県土の46%)や半島から成り、耕地は急傾斜地が多く、複雑な地形となっています。
- 気候 年間平均気温は16~17.5℃、年間平均降水量は約2,000mmと温暖多雨な気候です。
- 農家戸数 総農家数は42,000戸(平成17年)です。販売農家は28,500戸で総農家の68%です。また、主業農家数は9,000戸で販売農家の32%です。
- 農家経済 平成21年の販売農家1戸当たりの総所得は5,163千円で、農業所得率は21%です。
- 農業産出額 平成21年の農業産出額は1,376億円で全国中位にあります。品目別順位は肉用牛、米、豚、ばれいしょ、いちご、みかん等の順です。
- 森林面積 243千haで総土地面積の60%を占め、人工林面積は105千haです。
- 林業産出額 平成20年の林業産出額は61億円で、うち栽培きのこ類の産出額は52億円です。